

令和8年度

Generative AI

教育×生成AIシンポジウム

生成AI時代、学びはどこへ向かうのか

開催日

2026 **7月30日** 木 12:30 ~ 16:20

会場

東京大学 本郷キャンパス 安田講堂

https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/about/campus-guide/map01_02.html

●形式：現地開催 ●使用言語：日本語・英語(同時通訳あり)

事前申込

<https://84ea20da.form.kintoneapp.com/public/ai-2026>



参加無料

(先着順)

コンセプト

本シンポジウムは、生成AIの教育利用に関する国際的な最新の動向や先進事例、研究知見を共有するとともに、学校関係者及び保護者が生成AIの可能性とリスクについて理解を深めることを目的とします。また、AI技術の進展を踏まえ、今後の社会を生きる児童生徒に求められる情報活用能力をはじめとする資質・能力の育成や、教師及び子供の主体性を生かした学びの実現に向けた教育の在り方について考え、生成AIの適切な利活用に関する共通理解を図る機会とします。

スピーカー
(予定)

OECD 教育・スキル局長
(Director for Education and Skills)

アンドレアス・シュライヒャー 氏
Andreas Schleicher



特定非営利活動法人みんなのコード 代表理事

杉之原 明子 氏



能美市立寺井中学校 校長

亀田 香利 氏



東京学芸大学 副学長 / 教職大学院 教授

堀田 龍也 氏



信州大学学術研究院教育学系 准教授

佐藤 和紀 氏



東京大学大学院工学系研究科 准教授

OECD[Future of Education and Skills 2040]プロジェクト
AIカリキュラム・アナライザー・プロジェクト
技術専門家グループ共同議長 兼 AIエンジニアリングチームリーダー

吉田 墨 氏



哲学者・株式会社 baton

田村 正資 氏



プログラム(予定)

12:30~13:00 開会挨拶(文部科学省)・オープニングセッション

13:00~13:50 基調講演 生成AIとともに広がる学びの未来
-OECDの視点と日本への期待- (仮)

アンドレアス・シュライヒャー 氏
OECD 教育・スキル局長
(Director for Education and Skills) Andreas Schleicher

13:50~14:15 会場リフレクション

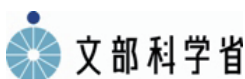
14:35~15:35 パネルディスカッション テーマ：生成 AI がもたらす学びの再構築とその可能性 文部科学省と日本OECD共同研究(*)のコラボレーションパート
Andreas Schleicher アンドレアス・シュライヒャー 氏 亀田 香利 氏 杉之原 明子 氏 堀田 龍也 氏 吉田 墨 氏

15:35~16:10 会場リフレクション/まとめ

16:10~16:20 全体講評 信州大学学術研究院教育学系 准教授 佐藤 和紀 氏

(※)日本OECD
共同研究とは

日本OECD共同研究とは、OECDの“Future of Education and Skills 2040 (E2040)”プロジェクトの国際的な議論と連携しながら、2040年の望ましい教育と社会のあり方を、日本の学校・地域・研究・政策・実践の現場から共に考え、見だし、つなぎ、発信していく共同研究・共創の枠組みです。子ども・若者も大人も、未来の受け手ではなく、今をしながら生きて、仲間とともに未来をつくる主体として位置づけます。そして、各地の実践を丁寧に見だし、意味づけ、つなぎ直し、国内外へ発信していくことで、教育を起点に、よりよい未来を社会へ広げていきます。



生成AIの活用を通じた教育課題の解決に向けた教育DXの加速事業 コンソーシアム事務局

Email: ai_info@nttexc.co.jp